

参議院沖縄・北方問題及び地方に関する特別委員会の皆様が沖縄健康医療拠点を視察

2026年7月27日（月）、参議院沖縄・北方問題及び地方に関する特別委員会（委員長 横沢高德議員）が、沖縄の振興開発及び基地問題等に関する実情調査のため、琉球大学西普天間キャンパスを訪問されました。

現場視察に先立ち、特別委員会委員の皆様と琉球大学関係者との間で、沖縄健康医療拠点に関する意見交換を行いました。始めに喜納育江学長による歓迎の挨拶があり、続いて横沢高德委員長からご挨拶をいただきました。その後、中西浩一医学部長から、沖縄健康医療拠点において産学官連携の核となり医療産業集積の先導役を担う先端医学研究センターの役割と取組について説明が行われました。

各委員からは、沖縄バイオインフォメーションバンクに登録されている生体資料の数量、沖縄特有の生物資源の研究内容、沖縄の長寿県陥落の原因などについて、活発な質疑応答が行われました。

意見交換後は、先端医学研究センター棟にある沖縄バイオインフォメーションバンクに移動し、今村美菜子准教授（当時は准教授、現在は教授）から同バンクに保存されている生体試料の状況やゲノム研究の意義、試料保管システムについて説明されました。

委員の皆様は、今村准教授の説明に熱心に耳を傾け、多くの質問を寄せられました。

バイオインフォメーションバンクの視察後は、先端医学研究センター棟から研究棟に移動し「おきなわこどもまんなかウェルビーイングセンター」事務局に立ち寄られ、病院棟も視察されました。

今回の視察により、特別委員会委員の皆様は沖縄健康医療拠点の現状をご理解いただくことができました。また、特別委員会委員の皆様からは、本学に対し、沖縄における医療のさらなる発展への期待と激励のお言葉を頂戴いたしました。



特別委員会と琉球大学との意見交換の様子



今村准教授から説明を聞く特別委員会の委員の皆様



視察終了後、特別委員会委員の皆様と琉球大学関係者による記念撮影